

2025 年 10 月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【特別入試】・
2026 年 4 月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【8月募集】入学試験問題

講 座	心理学（臨床心理学）
専門科目 1	臨床心理学

問 1 から 6 まで、すべての問題に解答しなさい。

解答用紙は 2 部配布します。問 1 と問 2 は、1 部の解答用紙の各面（1 / 4 ～ 2 / 4）に 1 問ずつ解答しなさい。問 3 と問 4 は、同じ解答用紙の別の面（3 / 4）に解答しなさい。問 5 と問 6 は、他の 1 部の解答用紙の各面（1 / 4 ～ 2 / 4）に 1 問ずつ解答しなさい。

それぞれの解答の冒頭には問題番号を明記しなさい。

問 1 あなたは心理専門職として A 病院に勤務しています。あなたが治療に関っている B さんから以下のような相談を受けました。

B さんは、30 代女性で、うつ病として約半年間薬物療法を受け、仕事には復帰できていませんが、徐々に症状が改善しています。現在の悩みは、日常生活には支障がない程度の吐き気が副作用としてあることです。今のところ経済的にも、家族関係上も問題なく経過していますが、B さんはもっとよくなって早く仕事に復帰したいと、今後の治療をどうすべきか悩んでいるようです。

「同じうつ病で治療を受けている友達が、自分は認知行動療法という治療で良くなったから、私にもそれを受けるよう勧めてきました。その治療は薬を飲むのとは違って面接による治療なので、副作用もないと言っていました。認知行動療法を受けられるところに転医しようと考えているのですが、どう思われますか？」

この B さんからの質問に対するあなたからの返答例を、その根拠も含めて記載しなさい。

問 2 物質使用症におけるハームリダクションという治療の一貫で、米国などのコミュニティでは Needle Exchange Program（注射針交換プログラム）という予防プログラムがあります。使用済みの注射針と清潔な注射針を交換するという活動の目的のひとつは、経静脈的投与の可能性のある精神作用物質による物質使用症の方々が、C 型ウイルス感染症や HIV 感染症に罹患するリスクを軽減することとされています。こうした活動の広がりを受けて、近年ではこの取り組みにおける物質使用症に対する心理社会的治療としての効果も注目されています。

そこで、政策や文化的な違いによる導入しやすさに配慮しながら、この取り組みによって期待される心理社会的な治療的側面について、以下にあなたの考えを述べなさい。

問3 応用行動分析における消去バーストとその対応について、具体的場면을挙げて説明しなさい。

問4 認知行動療法における脱中心化とマインドフルネスの異同について説明しなさい。

問5 緩和ケアとは、どのようなアプローチなのか、WHO の定義を含めて説明しなさい。そして、あなたが緩和ケアチームに携わる心理専門職だったとしたら、どのような点に配慮した活動をするのか述べなさい。

問6 インタビュー調査を行うにあたり、対象者から調査協力のインフォームド・コンセントを得る必要がある。どのような説明を行う必要があるのか具体的に示しなさい。また、説明にあたっての留意事項を示しなさい。

以上